

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 11 回相模原市社会福祉審議会				
事務局 (担当課)		地域包括ケア推進部地域包括ケア推進課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 2 2 (直通)				
開催日時		令和 5 年 5 月 2 2 日 (月) ~ 5 月 2 6 日 (金)				
開催場所		(書面開催)				
出席者	委員	3 2 人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局					
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため				
会議次第		1 開会 2 報告 (1) 社会福祉審議会について (2) 令和 3 年度・令和 4 年度の各専門分科会の開催状況について (3) 令和 5 年度予算 (健康福祉局、こども・若者未来局) について 3 議題 (1) 委員長の選出について (2) 相模原市の福祉及び保健・医療に関する計画 (施策) について 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 報告

- (1) 社会福祉審議会について
- (2) 令和 3 年度・令和 4 年度の各専門分科会の開催状況について
- (3) 令和 5 年度予算（健康福祉局、こども・若者未来局）について

3 議題

- (1) 委員長の選出について
社会福祉法 10 条の規定に基づき、委員の互選の結果、村井 祐一委員が選出され承認された。
- (2) 相模原市の福祉及び保健・医療に関する計画（施策）について
次のとおり、意見があった。

質疑・意見等

【地域福祉関連】

- (佐藤委員) 8050 問題や介護と育児のダブルケア、ヤングケアラーなど、課題が複雑化しており、行政、地域、事業者などが連携し、スムーズな支援が行えるような体制づくりが必要。
- (内山委員) 高齢者、障害者等を介護している家族が安心して相談が出来、また十分な支援をしていくことが重要。
- (笹野委員) 福祉と保健・医療の更なる連携が必要。
地域福祉の今後の方向性としての「包括的支援」「重層的支援」の取組の認知度向上などが必要。
- (吉原委員) 高齢、障害、子ども、生活困窮などの区分けや、世代を問わない「相談支援」、多様な参加を促す「参加支援」、住民交流等を促す「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重点的な取組が、これからは必要。
- (平岩委員) 感染症の予防、まん延防止は重要なことですが、それと同時にまん延した時であっても、包括的な支援体制を継続できるよう取組みが必要と考える。
コロナ禍の間、高齢者の交流の場が失われ、身体的・精神的な健康を保てなかった方々が多くいた。福祉を推進するにはオンラインではなく、直接人と関わる大切さを大事にしなければいけないと思う。

(中安委員) 包括的な支援体制の整備・人材づくりの継続的取組が必要。

(相澤委員) 何か社会の役に立ちたいと思っている方は少なからずいると思う。「共にささえあい生きる社会」を実現するためにも、手を差しのべられる人々(ボランティア)が機能する組織を構築できる社会体制ができると良い。

【高齢者福祉関連】

(島森委員) 担い手の発掘と共に、現在担い手となっている人(主に親族)への支援(レスパイト/相談支援等)に目を向けて早急に実施して欲しい。

【障害者福祉関連】

(中谷委員) 高齢になられた障害者で、独居もしくはさらに高齢の御家族と同居している等、高齢・障害が更に連携して支援が必要な方が増えている。

しかし、高齢・障害の支援者(ケアマネージャー・相談支援専門員等)が、多忙の為、連携してきめ細かな支援がいき届いていないのが現状だと思います。

計画にも入っているが、「人材確保定着育成」の更なる支援をお願いしたい。(特に障害については高齢よりも遅れている気がする。)

(鈴木委員) 重度障害者についても更なる地域移行が求められている中、その地域移行を支える担い手への支援を充実することにより、更なる移行が進むように取り組んでいただきたい。

例 医療的ケアが必要な者を受け入れる事業者や重度障害者の地域での生活の場となるグループホーム等への財政的支援の強化など

人口減少下での労働力の争奪戦が激しくなる中、福祉人材のなり手不足と質の確保が今後ますます課題となると感じている。

このことから、人材確保と育成についての役割分担を明確にし、特に人材確保についてはより積極的に行政が担うことを明確にしていきたい。

障害者プランの表題について、障害者の生活支援にあたっては、様々な職種の支援者が関わっており、例えば、医療的ケアが必要な者の支援にあたっては看護職が重要な役割を担っている。

しかしながら、この看護職の確保定着が課題となっていることから、「福祉人材の確保」よりも広義な表記、例えば「障害者を支える専門職員の確保…」とした方が良いのではないかと。

(高橋委員) 障害のある児童が各ライフステージにおいて、切れ目のない支援を受けながら、自分らしく生き生きと生活できる仕組み作りを推進していただきたい。

【こども・子育て関連】

(島森委員) 特に児童への支援は、親がキーパーソンとなるので、親に対する支援を

強化して欲しい。年少期から学童期は家庭での取り組みが特に必要な時期。並行して周囲に支援者、理解者を増やす事の重要な時期である事を公的支援の一貫として指導していただきたい。

(中安委員) 子育てに魅力のある市作りの必要な取組が必要。

(横堀委員) 子どものアドボカシーの推進(特に要支援状態の子どもの声をどうすくいとっていくか、社会的養護を必要とする子どもや児童相談所一時保護中の子どもの意見表明をどう進めるか)

見えにくい「子どもの貧困」への対応策の強化(子どもに関係する専門職への研修等、広報啓発を含む)

無料の学習支援へのバックアップ

4 閉会

以 上

社会福祉審議会 委員名簿

(令和5年5月22日)

番号	氏名	役職又は推薦団体	出欠席
1	佐藤 尚史	相模原市議会議員	出席
2	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
3	内山 妙子	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
4	小野 明子	相模原市障害者地域作業所等連絡協議会	出席
5	笹野 章央	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席
6	石黒 雄彦	相模原市老人クラブ連合会	出席
7	内田 紀子	相模原市私立保育園・認定こども園 園長会	出席
8	島森 政子	特定非営利活動法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	出席
9	黛 裕治	一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	欠席
10	中谷 正代	相模原市障害福祉事業所協会	出席
11	阿部 匡秀	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	出席
12	田川 継世	一般社団法人相模原市ひとり親家庭福祉協議会	欠席
13	吉原 君子	相模原市肢体障害者協会	出席
14	宇都木 泰代	相模原市視覚障害者協会	出席
15	木村 古津恵	相模原市聴覚障害者協会	出席
16	鈴木 泰明	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	出席
17	平岩 夏木	相模原市教育委員会	出席
18	梶川 義人	日本虐待防止研究・研修センター	出席
19	篠塚 実希子	相模原市自治会連合会	出席
20	横堀 昌子	青山学院大学	出席
21	竹下 昌之	学校法人相模女子大学	出席
22	菊池 剛	公益社団法人相模原市歯科医師会	出席
23	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会	出席
24	村井 祐一	田園調布学園大学	出席
25	中安 恆太	学校法人和泉短期大学	出席
26	高橋 真美	相模原市立小学校長会	出席
27	羽田 彌	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会	出席
28	甲斐田 沙織	神奈川県弁護士会	出席
29	安永 佳代	神奈川県弁護士会	出席
30	相澤 由美	相模原人権擁護委員協議会	出席
31	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会	出席
32	品川 洋一	一般社団法人相模原市医師会	出席
33	田島 敏樹	一般社団法人相模原市医師会	欠席
34	飯窪 美紀子	神奈川県立相模原支援学校	出席
35	森谷 郁美	相模原公共職業安定所	出席

